

令和元年度高知県の特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する状況調査結果

高知県教育委員会  
(令和元年5月1日段階)

校種		公立小学校 公立義務教育 学校前期	公立中学校 公立義務教育 学校後期	公立高等学校
実施対象校数		190 校	107 校	51 校
実施対象児童生徒数		31,573 人	13,783 人	13,199 人
実施体制	学校経営計画に特別支援教育について記載している学校	185 校 97.4 %	104 校 97.2 %	36 校 70.6 %
	校内研究等にユニバーサルデザインの視点を位置付けている学校	182 校 95.8 %	101 校 94.4 %	25 校 49.0 %
(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を除く)	必要と考える児童生徒が在籍している学校	157 校 82.6 %	76 校 71.0 %	19 校 37.3 %
	うち、作成している学校	152 校 96.8 %	65 校 85.5 %	13 校 68.4 %
	必要と考える児童生徒数	1,941 人 6.1 %	554 人 4.0 %	194 人 1.5 %
	うち、医師による発達障害の診断がある児童生徒数 (必要な全校児童生徒のうち、診断のある児童生徒が占める割合)	701 人 82.6 %	297 人 77.1 %	97 人 31.9 %
	作成済みの児童生徒数	1,580 人 81.4 %	383 人 69.1 %	117 人 60.3 %
	うち、医師による発達障害の診断がある児童生徒数 (作成が必要な診断のある児童生徒に対する割合)	662 人 94.4 %	228 人 76.8 %	49 人 50.5 %
	必要と考える児童生徒が在籍している学校	86 校 45.3 %	48 校 44.9 %	13 校 25.5 %
	うち、作成している学校	64 校 74.4 %	29 校 60.4 %	8 校 61.5 %
(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を除く)	必要と考える児童生徒数	782 人 2.5 %	241 人 1.7 %	78 人 0.6 %
	うち、医師による発達障害の診断がある児童生徒数 (必要な全校児童生徒のうち、診断のある児童生徒が占める割合)	462 人 54.4 %	193 人 50.1 %	41 人 13.5 %
	作成済みの児童生徒数	594 人 76.0 %	168 人 69.7 %	33 人 42.3 %
	うち、医師による発達障害の診断がある児童生徒数 (作成が必要な診断のある児童生徒に対する割合)	385 人 83.3 %	148 人 76.7 %	26 人 63.4 %
新入学生への引き継ぎ状況	1年生に個別の指導計画の作成が必要な児童生徒が在籍している学校数	141 校 74.2 %	77 校 72.0 %	19 校 37.3 %
	うち、なんらかの文書を活用し、引き継ぎを実施した学校数	119 校 84.4 %	68 校 88.3 %	14 校 73.7 %
	個別の指導計画の作成が必要な1年生児童生徒数	498 人	355 人	120 人
	うち、医師による発達障害の診断がある児童生徒数	199 人	252 人	49 人
	うち、なんらかの引き継ぎを実施した人数	457 人 91.8 %	335 人 94.4 %	101 人 84.2 %
	うち、発達障害等の診断のある児童生徒数	197 人 99.0 %	240 人 95.2 %	46 人 93.9 %
	うち、個別の教育支援計画、引き継ぎシート等 なんらかの文書を活用した人数	368 人 73.9 %	299 人 84.2 %	26 人 21.7 %
	うち、発達障害等の診断のある児童生徒数	183 人 92.0 %	223 人 88.5 %	17 人 34.7 %